



第3学年 学年通信 第4号

2018. 12. 21

いよいよセンター試験！

センター試験が間近に迫ってきました。特編授業も3週間が過ぎ、みなさんも受験が近づいてきていることを実感しているのではないのでしょうか。

1月5日(土)、6日(日)は最後のプレテストです。この模試は本番を想定して行います。日程は下記の通りです。朝起きてからどのように登校するのか？遠方の方は宿泊の必要はないか？服装はどうするのか？センター当日の持ち物は？など、センター試験当日の全てをシミュレーションしましょう。当日の行動を確認しておけば、いざというときに慌てることはありません。自分の実力を出し切るために、小さな不安も解消しておくことが重要です。

【全統Kパックプレテスト時間割】

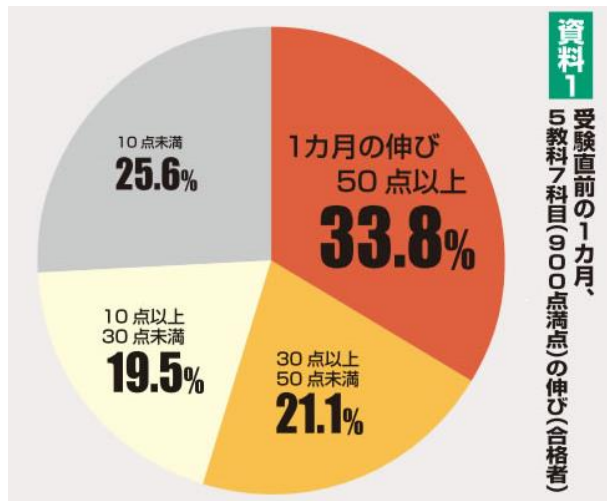
1月5日(土)	
～8:30	地歴公民2科目受験者集合
～9:40	地歴公民1科目受験者集合
8:40～	地歴公民1 (60分)
9:50～	地歴公民2 (60分)
11:10～	国語(80分)
13:30～	英語(80分)
15:10～	リスニング(30分)

1月6日(日)	
～8:30	理科①基礎科目受験者集合
～9:50	数学 入室完了
8:50～	理科①(60分)
10:10～	数学①(60分)
11:30～	数学②(80分)
13:30～	理科②1(60分)
14:40～	理科②2(60分)

※「地歴公民」「理科②」で、途中で入室する人は、必ず10分間の合間の時間に入室してください。
※休み時間は20分です(連続科目の間は10分)。

1ヶ月でどれだけ伸びるか！？

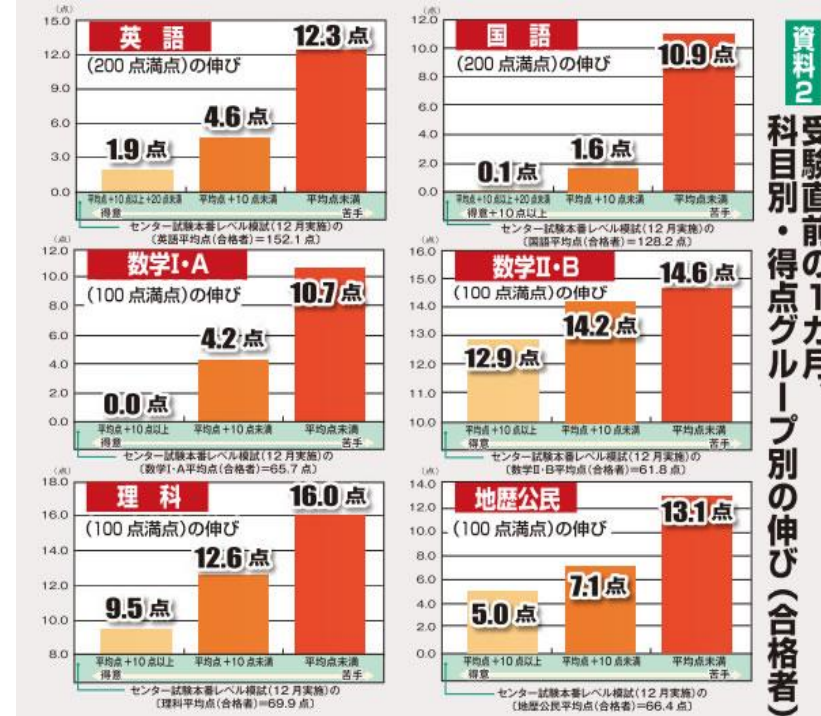
年末年始、何かと誘惑の多い時期を迎えますが、1日1日を大切に、やりきってみませんか！？
下のグラフは予備校の調査結果です。まだまだ伸びるぞ！これから伸ばすぞ！



資料1は、「最終12月センター試験本番レベル模試」(2013年12月実施)から、2014年センター試験本番までの約1カ月間(3週間強)に、合格者が5教科7科目(900点満点)でどれだけ得点を伸ばしたかを示したものです。これを見ると、合格者の33.8%が合計50点以上得点を伸ばしていたことがわかりました。

「現役生は直前1カ月がよく伸びる」と言われますが、まさに数値の示す通り本当でした。

苦手科目ほど伸びる！？



さらに資料2では、科目別に得点の伸びを調べました。すると、「最終12月センター試験本番レベル模試」での得点が低かった科目ほど、センター試験本番で伸びていることがわかります。

①伸びしろの大きい苦手科目・苦手分野に取り組む。模試や過去問で苦手な部分を把握したら、教科書やノートで基礎を見直し、そのうえで制限時間を設けて改めて過去問を解こう。大問別に集中して取り組むのも有効です。

②センター試験で8割以上得点できている科目は、二次試験対策に取り組みましょう。実践的な演習を行い、時間配分や形式に慣れるとともに、答案作成力をどんどん高めてほしい。

当日までどのように過ごすか！？

- 一. 新しい問題集に挑戦する？ NO！
自信をつける大切な時期。今まで自分で使ってきた問題集を見て自信を付けることが大事。不慣れな問題の連続で、解けずに、ますます不安が押し寄せる。
- 一. 暗記でひたすら知識を増やす？ NO！
取りこぼしが無いよう暗記に力を入れ、すべての時間を暗記に費やしても、いざ問題を解こうとしてみると解けない。
暗記も必要だが、実践問題を解かないと点数に結びつかない。単語を暗記しただけでは、なかなか点数につながらない。その単語を使って、どうやって問題を解くのが大事。
- 一. 寝る間を惜しんで勉強する？ NO！
寝なかったら勉強量は確保できるが、体調を崩して寝込んだら精神的につらくなる。毎日同じ時間に起きて、同じ時間にご飯を食べて、同じ時間に寝ることを決めて崩さない。
夜型の人は朝型にしましょう。試験は夜には行われません。
- 一. 息抜きで気分転換？ NO！
ちょっとした息抜きのつもりが、爽快感にはまってしまう。スマホ、マンガ、ゲーム、外出等に注意！息抜きは30分以内にすべし。それ以上は息抜きではなくてサボりです。
- 一. 人のおしゃべり？ NO！
人の成績を聞いて自信をなくしたり、人に惑わされたり。それよりもあと少しだけ我慢して、自分自身との戦いに持ち込んだ方がいい。